

私たちが慎重に チェック

可決された 主要な議案と 疑質

加須市医療体制確保 基金条例

議員 本条例設置の趣旨、及び基金の用途についてお伺いします。

健康医療部長 市民の皆様は安心していただける医療体制を確保する上で、目的を明確にした財源を準備する必要がありますことから新たに基金を設置するもので、済生会栗橋病院の一部機能の加須市への移転に対する支援、市内への産婦人科及び救急科開設に係る補助事業、看護師・准看護師育成のための補助事業に活用します。

議員 本条例を提出した背景と経緯、誘致に係る土地の確保に対する本基金活用の有無及び財政支援についてお伺いします。

市長 医師・看護師不足や医療法の規制など厳しい医療環境の中で、市民の命と健康をどう守っていくかということが市政における最大の課題で

あります。

これまで、近隣の市町と一緒になって、地域医療ネットワークシステム「とねっと」の運用を進めるとともに、本年度からは、19床以下の医療機関の開設支援などの新たな制度に取り組み始めました。こうした中で、済生会栗橋病院は、施設も老朽化しており、また多くの加須市民を患者として受け入れていること、市内の医療機関との連携も十分図られていないこと、さらに移転については分院構想を考えていることなどにより、意見交換を重ねながら、3月15日に覚書を締結し、病院誘致のスタートラインに立ったところです。

最大の課題である土地の確保につきましては、すでにほとんどの地権者の方に考え方についてご了解をいただいております。取得に当たっては土地開発基金を財源として使っていくたいと考えております。また財政支援につきましては、事業費が未定の状態

です。25億円は下限であると考えております。病院誘致に向けて、市民一体となつて、何としても実現を図りたいと考えております。

平成28年度一般会計 補正予算(第1号)

《障害者施設整備促進事業》

議員 新たに開設する障害者グループホームの施設の設置場所や規模、定員数等の概要について、また、開設スケジュールと補助金267万5千円の根拠についてお伺いします。

福祉部長 市内で多機能型就労支援施設ワークスみぎわを運営している社会福祉法人一麦福祉会による騎西地域の牛重地区での障害者グループホームの整備事業が、国・県の補助を受けて実施されることとなったことから、加須市障害福祉サービス事業所施設整備事業補助金交付要綱に基づき支給する補助金を計上したところでございます。

この施設は、約1205㎡の敷地に延べ床面積約195㎡の平屋づくりで、8つの居室のうち、グループホームとして使用する居室が7部屋、市内初となるショートステイに使用する部屋が1部屋設けられる予定です。本年11月末竣工の見込みで年内に開設する予定と聞いております。

今回の場合、総事業費5084万4千円に対する国・県の補助金の合計額が2675万4千円、これに100分の10を乗じて得た額以内で上限が1000万円でございますので、市の補助金は267万5千円となりました。

